



「Metalligenic-Minerogenetic Map of India」

1 : 2,000,000 1963 初版

インド政府の要請にもとづく西ドイツと英国の援助を得て インド地質調査所が作製した鉱床生成・分布図である。

4葉1組だが そのほかに説明書 (23p. 図1 24.5×16.5cm) も付されている。

この種の図幅で作製者が苦心するのは 鉱床の生成型式・鉱種・規模の分類その組み合わせ方 そしてその記号の選択 さらに基礎図としての地質図や構造地質図の表現などである。

ここに掲げた図の場合 よく考えてはいるが 規模は全然表現されていないし 鉱床名も付されていない。 鉱種も限られている。 しかし 出版されたことには大きな意義があるし 日本がとりかかっている ECAFE 地域の同趣旨の図幅作製にはよい参考になるだろう。 背景に使われている構造地質図はアッサリと簡略化されている。 そのため同じ縮尺の本格的な構造地質図が別途作製されて 当資料室に入庫している。

～地質調査所の出版物～

・地質調査所月報第23巻第6号

報文

牧 真一・本島公司・佐々木 実・河内英幸・比留川貴・米谷 宏・永田松三：茨城県高萩市 GSH-1 号試錐によるヘリウム資源調査研究

石山尚珍：宮古湾と山田湾における貝類の生息環境の比較について

概報

石原舜三：福島県田子倉モリブデン鉱床のポーフィリー式鉱床としての可能性

塚脇祐次：愛媛県東宇和郡宇和町島坂地区の放射能強度について

資料

ガンテルバイト鉱化体—新型の秀れたベリリウム資源 (岸本文男訳)

新着資料の紹介 (資料室)

・地質調査所月報第23巻第7号

報文

望月常一・中尾征三：宍道湖・中海湖水の懸濁物中のウラン含有量

藤貫 正・岡野武雄：北海道地区炭酸塩岩石の化学成分

概報

塚脇祐次：愛媛県越智郡大西町地域の放射能異常について

尾上 亨：松山市興居島産新第三紀フローラについての新知見

資料

モンゴルの石炭鉱床 (岸本文男訳)

地質調査所における石炭調査研究の概要 (徳永重元)

新着資料の紹介 (資料室)

講演要旨

第1部：ドイツ北西部の地質 第2部：ドイツ連邦地質調査所とニーダーザクセン州地質調査所 (ニーダーザクセン州地質調査所 ライナー・ヨルダン)

第15回 IUGG 総会の報告 (小野晃司)

第12回太平洋学術会議の報告 (石原舜三)

地質ニュース	第221号	1月号
	定価 ¥ 280	〒 32
昭和48年1月25日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久	雄
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (265) 0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	政府刊行物サービスセンター	
	東京都千代田区大手町1の8	
	Tel. (211) 5570	
印刷所	共同印刷株式会社	